



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和7年5月28日
第3号
発行責任者 天野 圭

キラキラとひとみが輝く二小の子ども



【運動会のご協力に感謝いたします】

運動会のご協力ありがとうございました。お陰様でケガなく、無事に終わることができましたこと、心より感謝申し上げます。

それぞれ児童・保護者・消防団の方々の活躍については、各学年だより等でお知らせしています。今回は別な視点から記載させていただきます。

それは、校庭の環境についてです。

以前は、「**校庭を見るとその学校の雰囲気や授業内容が分かる。**」とよく言われました。もちろん現在でもその意味が通じない訳ではありません。私も出張で他の小・中学校の校庭をよく見ます。しかし、最近、雑草がなく整備されている学校（校庭）が少ないと感じています。なぜなのでしょうか。

- ・ 働き方改革の加速により、勤務時間以外のことを制限し、教師が担う業務でないと考えてきたから。
- ・ 熱中症予防の観点から、熱い日の活動に制限ができたから。
- ・ 児童数や職員数減少により、校庭の除草まで手が回らなくなつたから。
- ・ 校庭に対する管理職の考えが変わってきたから。

など、様々なことが考えられます。

私も体育主任歴は長いですが、校庭をきれいにしようと早朝や退勤後に校庭整備をしていました。よかったのは、除草作業をしていると意外と心が落ち着いて、授業のアイデアが浮かんできました。

- ・ 子どもたちが楽しく走るためには、
ここにも白線があった方がいいのでは。
- ・ 校庭のここからここまで瞬発力を鍛え、
ここからここまで全身持久力を鍛えよう。
そのための学習カードはこうしよう。
- ・ 子どもたちが自分で選んで取り組むため
に、サーキットコースは必要だ。ここの草
は全部除草しよう。



など除草することで、授業や準備物のイメージが湧き、早く授業をやりたくなったものです。何と言っても、陸上競技場のように「**子どもたちが自ら走りたくなるような校庭**」を目指していたからです。現在、整備されていない校庭を見るたびに、私のような考えをもつ人は「**時の人になってしまったのか。**」と思います。

本校も広い校庭を整備するには、時間がかかります。トラック内は整備し、それ以外は均一な長さで緑を育成しようと思います。児童会主催「草むしり大会」や「職員作業兼教材研究」として職員も整備していきます。ご理解の程、よろしくお願ひいたします。

【自由進度学習の進捗状況について】

現在、3・4年生が算数科自由進度学習に取り組んでいます。それぞれが計画を基に、自分のペースで学習を進めている状態です。担任の先生方も、今年度より学校に配属された教育プロジェクトマネージャーと話し合いを繰り返しながら、児童の実態に合った取り組み方を研修しているところです。担任の先生方も初めての試みなので、試行錯誤しながら取り組んでいます。子どもたちが「キラキラとひとみが輝く二小の子ども」になれるよう力を入れていきます。

そして大切なことは、自由進度学習のみを考えていくのではなく、

- ☞運動会のリレーの経験
- ☞学級会の話し合い活動への取組
- ☞異年齢交流活動（児童集会）への取組
- ☞異年齢合同体育への取組
- ☞合奏練習への取組 等



子どもたちにその必要性を説明し、共に理解し合いながら、関連付けて進めていきたいと思います。保護者の皆様には、いつか算数科の学習で輝いている子どもたちを見ていただきたいと願っております。まだ始めたばかりですので、もうしばらくお待ちください。

【ボランティア奉仕作業、ありがとうございました】

先週土曜日早朝より、奉仕作業にご協力いただきありがとうございました。ほとんどの実家庭の方の参加に地域の強みを感じました。できる限り維持していきたいと思いますが、人員の関係で目が行き届かない所が出てくるかもしれません。その際は「がんばってね。」と助言いただけましたら幸いです。校舎内もそうですが、整理整頓されると防犯にも役立ちますね。

早朝4時30分に集合いただき、池の鯉を移動し、清掃後に戻してくださったPTA役員の皆様にも心より感謝申し上げます。鯉さんはとても重かったですね。

【校長のひとり言】

よりよい人間関係を構築するために必要なことの一つとして相手を敬う「尊敬」という言葉があります。現在は「リスペクト」と言われることが多いでしょうか。学校で主任や教頭・校長になると特に意識する言葉です。尊敬できる上司がいることは業務上とても大切なことですし、上司には必要な要因だと思います。現在、本校に私をリスペクトしてくれる先生がいるでしょうか。「校長だから逆らうと何かに影響がありそう。」「校長だから仕方ないか。」等の理由で話を聞いてくれる先生ばかりならば心底さみしいものです。実際、自分が教諭時代にそんな経験をしたことがあります。当時、校長先生との会話はその場しのぎの会話でした。現在、校長になってみて、当時もっとたくさんのことと相談すればよかったですと反省しています。当時の校長先生を「リスペクトできなかった。」のではなく、「リスペクトしようとせず、自分から離れていた。」ということが正しい表現だと後悔しています。今、先生方から無理にリスペクトしてほしいとは思いませんが、せめて先生方一人一人のよさや課題について理解し、助言ができる校長でいたいと思います。